



認知症の症状と対応

～着衣失行～

失行とは、運動機能に麻痺などの障害がなく、言われたことも理解しているにもかかわらず、日常生活で普段行っている動作がうまくできなくなることをいいます。着衣失行とは、衣服を正しく着る動作がうまくできなくなることをいいます。

左の4コマの場合

- どう着替えればよいかわからず不安になり、着替えが思うように進みません。
- ※他にも、ボタンがうまくとめられない、上下、裏表がわからないなどもあります。



接し方のポイント

- 「早く着替えて!」と急かしたり、「おかしい恰好してどうしたの?」と聞くことは、不安な気持ちになることにつながります。
- 「ここに腕を通してね」といった声かけや実際にサポートしながら腕を通すことで上手くいくこともあります。
- 本人ができることは見守り、戸惑う部分は手伝いましょう。
- ゆったりとしている、洗濯がしやすい、ウエストがベルトではなくゴムでできているものなど着脱しやすい服を用意しましょう。



9月は…世界アルツハイマー月間（認知症月間）

認知症について考えてみましょう

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、世界中でこの日を中心に認知症の啓発が実施されています。日本では、2023年6月の「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の成立とともに、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定められました。

認知症と
もの忘れの
違いって??

もの忘れ

体験の**一部**を忘れる

例)食事したことは覚えているが、
献立が思い出せない

認知症

体験の**全部**を忘れる

例)食事したこと自体忘れている

認知症早期発見チェックリストを活用し、ご自身の状態を知りましょう。

認知症早期発見チェックリストとは、軽度認知障害(MCI)を早期発見するためのものです。早期発見することで、早期治療や生活習慣を見直し、認知症の発症を防ぐことが可能です。

質問	本人	家族
そういえば、大事なものをよく置き忘れるようになった		
同じことを何度も繰り返し話すようになった		
今日が何日か、わからなくなった		
季節や状況に応じた身だしなみ等ができなくなった		
新しい道を覚えられなくなった		
一つの用事をしている間に他の用事を忘れるようになった		
自分の予定や行動の準備・計画ができなくなった		
テレビのリモコンや炊飯器の使い方がわからなくなった		
人付き合いが苦手になり、閉じこもりがちになった		
ちょっとしたことでイライラするようになった		

本人とご家族、それぞれ
あてはまる項目に「○」を
してください。

1つでもあてはまり、
気がかりな方は、長寿健康課
にご相談ください。



敦賀つながりカフェに参加しませんか?—

敦賀つながりカフェは、認知症のことや健康のことなど情報交換したり、飲み物やお菓子を食べながらゆったり過ごしていただく場です。

日程等の詳細は長寿健康課までご連絡いただくか、
右のQRコードからご確認ください。



昨年度の9月のアルツハイマー月間に
合わせたイベントの様子

認知症ほっとけんまちハンドブック

シリーズ版¹⁶ 令和6年9月発行

敦賀市 認知症サポーター数: 16,274人 (R6.8月末現在)

■過去に発行したものもご覧いただけます。
■市ホームページよりご覧いただけます。

ほっとけんまちハンドブック

検索



発行: 敦賀市 長寿健康課 ☎22-8181 協力: 敦賀市認知症支援推進協議会

次号につづく

